



SYMPHONIE
ORCHESTER
DER
VOLKSOPER
WIEN

ニューイヤー・コンサート 2025 ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

New Year Concert 2025
Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

ヨハン・シュトラウスⅡ世 生誕200年記念特別プログラム



© Doris Kucera

ソプラノ
シピーウェ・マッケンジー
Siphwe McKenzie, Soprano



テノール
ズザボル・ブリックナー
Szabolcs Brickner, Tenor



指揮
アレクサンダー・ジョエル
Alexander Joel, Conductor

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 Symphonie-Orchester der Volksoper Wien
バレエ・アンサンブル SOVOP ウィーン Ballett Ensemble SOVOP Wien

200 Years Johann Strauss Jr. Anniversary

オペレッタ『こうもり』序曲 Die Fledermaus, Overture

ワルツ『春の声』作品410 Frühlingsstimmen Waltz, Op. 410

『皇帝円舞曲』作品437 Kaiser-Walzer, Op. 437

ワルツ『美しく青きドナウ』作品314 An der schönen, blauen Donau Waltz, Op. 314
ほか etc.

2025年1月7日(火) 19:00開演 (18:20開場) 富士市文化会館ロゼシアター 大ホール
(富士市蓼原町1750番地)

【チケット料金】 S席12,000円 A席10,000円 B席8,000円 ※未就学児入場不可

一般発売 2024年9月21日(土) 10時～
※窓口発売は9月24日(火) 10時～

ロゼシアターでお求めの際には「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です
◆ロゼシアターホームページ <https://rose-theatre.jp/>
◆ロゼシアター窓口(営業時間9:00～20:00)
◆ローソンチケット l.tike.com (Lコード/42306)



【主催】サントリーホール suntoryhall.jp/HALL/ 【共催】公益財団法人富士市文化振興財団 【後援】オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京/オーストリア政府観光局

※出演者・曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。最新情報はホームページでお知らせします。※就学前のお子様はご入場いただけません。
※ロゼシアター駐車場の収容台数には限りがあります。周辺店舗への無断駐車は大変迷惑となりますのでご注意ください。※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください。

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団がロゼシアターに帰ってきます!

1993年11月1日。ロゼシアターオープニング初日を飾った「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団」。
2025年の幕開けをヨハン・シュトラウス二世生誕 200 年記念特別プログラムでは華やかに。



2024年ニューイヤー・コンサートの様子
撮影:池上直哉



■ 指揮: アレクサンダー・ジョエル
Alexander Joel, Conductor

オペラだけでなくマーラー、ブルックナーなどのドイツ・オーストリアの管弦楽作品にも幅広いレパートリーを持ち、気品と情熱を兼ね備えた音色をオーケストラから引き出すことができる指揮者として、ロイヤル・オペラ・ハウスをはじめ、バイエルン州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場など欧米の歌劇場やプロダクションから引っ張りだこである。ウィーンでピアノと指揮法を学び、1993年から2003年までフォルクスオーパーのカベルマイスターとして指揮台に立っていたジョエルは、2022/23シーズン以降、フォルクスオーパー首席客演指揮者として定期的にタクトを振り、特にオペレッタ作品へのアプローチは高い評価を得ている。



■ ソプラノ: シピウエ・マッケンジー
Siphwe McKenzie, Soprano

カナダのバンクーバー生まれ。ニュルンベルク州立劇場での『ラ・ボエーム』ムゼッタ役でキャリアをスタート。この劇場で6シーズンもの間ソリストとして数々の主要な役を歌い、権威あるオペラ雑誌『オーベルンヴェルト』の年間ベスト歌手に何度も選出された。その後、ウィーン・フォルクスオーパー、バウム王立歌劇場、サンディエゴ・オペラ、バーデン州立歌劇場、ザンクト・ガレン劇場、ラインガウ音楽祭などで活躍。このジルヴェスター&ニューイヤー・コンサートには、2007/08シーズン以来度々出演し、迫力の歌唱で会場を席巻している。



■ テノール: スザボル・ブリックナー
Szabolcs Brückner, Tenor

ブダペストのリスト音楽院で声楽とクラリネットの学位を取得。2004年フェルッチョ・タリアヴィーニ国際声楽コンクールで2位入賞、08年エリザベト王妃国際音楽コンクールで最優秀賞(クイーン・ファビオラ賞)受賞。バイエルン州立歌劇場、フランクフルト歌劇場、ハンガリー国立歌劇場などで有名オペラ作品の主要な役を演じる。また、バリ管弦楽団、ラ・プティット・バンド、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団や、アダム・フィッシャー、ヴァレリー・ゲルギエフ、ニコラ・イソツェティ、クルト・マズア、ギュンター・ノイホルト、大野和士など世界的マエストロと共演している。



■ ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団(SOVOP)は、オペレッタの殿堂「ウィーン・フォルクスオーパー」の歌劇場専属オーケストラ「ウィーン・フォルクスオーパー楽団協会」として1917年に設立された。その後、コンサート・オーケストラとして「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団」と名称を新たに、世界的歌手たちと共に名だたるコンサートホールでコンサート活動を行っている。ウィーン緑の作曲家、シュトラウス一家、レハール、スッペなどのオペレッタ、ワルツ、ポルカは彼らの十八番であり、本拠地ウィーンの伝統と歴史を継承する正統派として聴衆を魅了し続けている。特筆すべきはウィンナ・オペレッタの演奏解釈で、ウィーンの伝統を重んじつつ、時代性を取り込む新しい演出、演奏にも積極的に挑む姿勢は高く評価されている。また今日では、オペラ、ミュージカルにもレパートリーを拡げ、世界各国でコンサートを開催している。日本では、1994年以来サントリーホールがウィーン・フォルクスオーパー交響楽団を招聘。東京・名古屋・大阪を中心にウィーンらしい演出とプログラムによる「ジルヴェスター・コンサート」「ニューイヤー・コンサート」を継続的に開催し、幅広い世代から親しまれている。



■ バレエ・アンサンブルSOVOPウィーン
Ballett Ensemble SOVOP Wien

ウィンナ・ワルツの研究と継承、および典型的なウィンナ・ダンスの保護を目的としてウィーン・フォルクスオーパーを母体に結成されたバレエ団。今回も選りすぐりの2組のペアが、サントリーホールの舞台上に登場し、エレガントな宮廷舞踏と、時にコミカルな演出で舞台を盛り上げてくれる。